

Japan AT フォーラム 2014

8/23(土)～24(日) 仙台高専・広瀬キャンパスを会場に、第1回となる『Japan AT フォーラム 2014』を開催しました。このフォーラムは、平成22年から毎年実施してきた『福祉情報教育フォーラム』を発展させたもので、今年度は三機関連携プロジェクト・アシスティブテクノロジー(AT)部門との共催で行いました。当日は、教員、学生、福祉関係者、企業、一般参加あわせて100名近くの参加者で盛会となりました。

1日目は一般公開し、記念講演、オーラルセッション(11件)、ポスターセッション(12件)、企業展示(6社)、パネルディスカッションと盛り沢山の内容で、現場ニーズと研究シーズの交流を行いました。

2日目は、三機関連携プロジェクトの教員および学生をメインに、企業や福祉現場の教員がアドバイザーとして入ったワークショップを行いました。午前中、教員側は「ATスーパー技術者育成」のためのカリキュラムづくりに向けたワークショップを、学生(26名)は「10年後の未来を展望した支援機器を開発する」というテーマでワークショップを行いました。午後の全体会では、教員・学生それぞれが、午前中の成果を発表。その後、全員で午前中に出されたアイデア実現のために何ができるか?意見を出し合いました。このフォーラムの成果を、AT部門の活動につなげていく考えです。



会場は100名近い参加者でいっぱい



開催校を代表して仙台高専・校長内田龍男様よりご挨拶



記念講演「特別支援教育における支援技術の活用」



企業ブースで、実際に機具を装着する参加者



パネル討論「未来の支援機器のあり方」



学生ワークショップ「10年後の未来を展望した支援機器」



教員は「ATスーパー技術者育成プログラム」設計のためのワークショップ。



最後は、教員・学生が一緒になった全体会